

千葉大学医学部附属病院で治療された 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2025 年 10 月 06 日

臨床栄養部

現在、臨床栄養部では、「同種造血幹細胞移植後の患者における退院後の食事摂取量に関連する因子」に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2024 年 01 月 01 日～2025 年 06 月 30 日の間に同種造血幹細胞移植を施行され、
入院時かつ退院後外来 2 週間以内に管理栄養士による栄養相談を受けた方

1. 研究課題名

「同種造血幹細胞移植後の患者における退院後の食事摂取量に関連する因子の検討」

2. 研究期間

2025 年承認日～2028 年 3 月 31 日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

同種造血幹細胞移植、治療における過程で、味覚障害、悪心嘔吐、粘膜障害、下痢などの有害事象が発生し食事摂取量の低下をきたしやすく、また退院後も入院前の経口摂取量を確保することが難しい可能性があります。そこで、本研究は 2024 年 01 月 01 日～2025 年 06 月 30 日の間に同種造血幹細胞移植を施行され、入院時かつ退院後外来 2 週間以内に管理栄養士による栄養相談を受けた患者さんを対象とし、入院中の栄養摂取や有害事象などが退院後の食事摂取量・栄養状態にどのように影響するのかを検討します。

本研究においては、氏名等の個人を識別できる情報を削除し、研究 ID に置き換えた情報は千葉大学医学部附属病院臨床栄養部で解析を行います。共同研究機関である淑徳大学に情報は提供されません。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、診療録に記載されている年齢、性別、身長、体重、既往歴、血液検査値、病名、前処置法、移植元、入院後の食事や点滴などからの栄養摂取状況、副作用・合併症の記録を使用します。

5. 研究組織（試料・情報を利用する者の範囲）

研究代表機関名	研究代表者
千葉大学医学部附属病院	臨床栄養部 部長/肝胆膵外科 教授 大塚 将之
共同研究機関名	研究責任者
淑徳大学	看護栄養学部 栄養学科 飯坂真司

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院臨床栄養部において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

（URL：<http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>）

7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

臨床栄養部 管理栄養士 小野塚美乃

043（222）7171 内線6151